

長野県森林づくり県民税活用事業一覧（南信州）

平成30年度第2回会議

区分	事業名	南信州				備考	ページ数
		平成30年度計画		平成30年度実績(見込 み)			
		面積等	予算額 (千円)	面積等	実績額 (千円)		
活用事業	求められる機能に応じた里山等の森林づくりの推進						
活用事業	みんなで支える里山整備事業	425ha 350㎡	124,115	378ha 1,648㎡	107,874	H29繰越分	P3~P8
『防災・減災』及び『住民等による利活用』のための里山等の整備							
活用事業 1	防災・減災のための 里山等の整備	みんなで支える里山整備事業 里山整備方針作成事業	135ha 2件	36,980 1,636	39ha 2件	9,877 1,636	P3~P8 P9
活用事業 1	県民協働による里 山の整備・利用	みんなで支える里山整備事業 里山整備利用地域活動推進事 業 里山資源利活用推進事業	7箇所 3件	28,591 950	7箇所 3件	28,591 950	P10・P11 — P12・P13
活用事業 1	地域で進める里山集約化事業		57ha	855	57ha	855	P14
自立的・持続的な森林管理のための間伐材等の利活用							
活用事業 2	地消地産による木 の蓄る暮らしづくり 事業	「子どもの居場所」木質空間整備 木工体験活動支援 県産材公共サイン	— 5件	— 882	7箇所 5件	2,022 882	公募事業 P15・P16 P17
活用事業 2	薪によるエネルギーの地消地産推進事業		—	—	—	—	該当なし (公募事業)
活用事業 2	松くい虫被害木利活用事業		1箇所	1,800	1箇所	900	豊丘村 P18
森林づくりに関わる人材の育成							
活用事業 3	里山整備利用地域リーダー育成事業		—	—	2日間4講座	2/17・3/2 本庁執行	P19
活用事業 3	森林セラピー推進支援事業(人材育成等)		—	—	—	本庁執行	—
多様な県民ニーズに応えるための森林の利活用							
活用事業 4	森林の教育利用の 推進	学校林等利活用促進事業 自然保育活動フイールド等整備 事業(県民文化部)	— 2箇所	— 1,291	— 2箇所	— 1,291	該当なし P20・P21
活用事業 4	まちなかの緑地整備事業(建設部)		—	—	—	—	該当なし
活用事業 4	観光地における景 観形成のための森 林等整備	観光地の景観整備(建設部) 観光地等魅力向上森林景観整備事業	— 1件	— 1,675	— 1件	— 1,675	該当なし P22
活用事業 4	森林セラピー推進支援事業(施設整備支援)		1件	5,174	1件	5,174	P23

市町村に対する財政調整的視点での支援							
活用事業5	森林づくり推進支援金	14市町村	13,970	14市町村	13,970	P24~P26	
森林づくりの理解を深める普及啓発及び森林税の評価・検証							
活用事業6	森林税の普及啓発・評価・検証	みんなで作える森林づくり推進事業	—	278	—	190	P27~P29
		(森の里親促進事業)	—	—	—	—	—
		(地球温暖化防止木材利用普及啓発事業)	—	—	—	—	—
		(地球温暖化防止吸収源対策推進事業)	—	—	—	—	—
合計			218,197		175,287		

平成30年度 みんなで支える里山整備事業

南信州地域振興局 林務課

【平成29年度繰越分】

- 趣 旨 長野県森林づくり県民税を活用して間伐を面的に推進することにより、集落周辺の里山等の森林の有する多面的機能の回復・維持・増進を図り、森林環境の保全に資するものとする。
- 事業内容 間伐、搬出支援、付帯事業（間伐と一体的に実施）
- 事業主体 市町村、森林組合、NP0法人、森林所有者の団体等
- 補助率 9/10以内（搬出支援については定額（3,500円/㎡））
- H30実績見込（南信州）
間伐面積：378ha、搬出材積：1,648㎡、補助金額：107,874千円

【防災・減災のための森林整備】

- 趣 旨 「防災・減災」の観点から、未整備の里山のうち、科学的知見等を活用して優先的に整備が必要な箇所の間伐を推進する。
- 事業内容 間伐（搬出間伐を含む）、作業路開設、付帯事業
- 事業主体 市町村、森林組合、NP0法人、森林所有者の団体等
- 補助率 9/10以内
- H30実績見込（南信州）
間伐面積：39ha、補助金額：9,877千円

【県民協働による里山整備】

- 趣 旨 長野県ふるさとの森林づくり条例に基づく「里山整備利用地域」において、住民協働による里山の整備を促進するとともに、多面的な森林資源の活用を進めることで、自立的・持続的な森林管理の構築を図る。
- 事業内容 里山の整備（間伐、搬出間伐、植栽、下刈、緩衝帯整備等）、路網整備
- 事業主体 市町村、森林組合、NP0法人、森林所有者の団体等
- 補助率 9/10以内
- H30実績見込（南信州）
なし

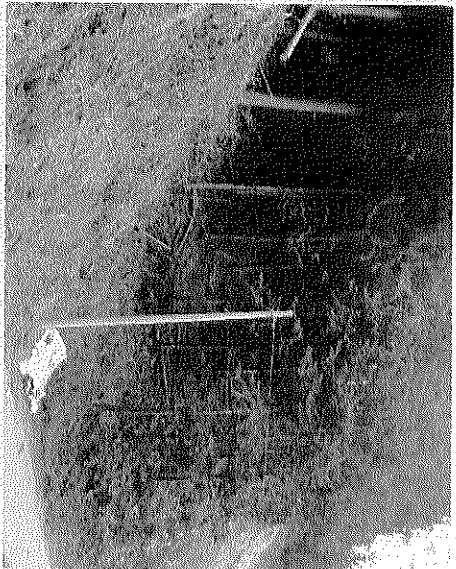
平成30年度みんなが支える里山整備事業の計画(要望量)及び実績見込み(H29繰越分)

区分	H30(計画)			H30(実績見込み)			増減					
	間伐	撤出材積	計	間伐	撤出材積	計	間伐	撤出材積	計			
飯田市	面積(ha)・材積(m3)	79	200									
	補助金(千円)	25,305	700	26,005	166	1,147	48,332	4,015	52,346	23,027	3,315	26,341
松川町	面積(ha)・材積(m3)	40										
	補助金(千円)	13,205		13,205					0	-13,205		-13,205
高森町	面積(ha)・材積(m3)	7			24					17		0
	補助金(千円)	1,778	0	1,778	6,271		6,271		6,271	4,494	0	4,494
阿南町	面積(ha)・材積(m3)	125			69	132				-56	132	
	補助金(千円)	33,969	0	33,969	16,142	462	16,604		16,604	-17,828	462	-17,366
阿智村	面積(ha)・材積(m3)	47	150		42	288				-5	138	
	補助金(千円)	14,035	525	14,560	11,265	1,008	12,273		12,273	-2,769	483	-2,286
平谷村	面積(ha)・材積(m3)									0		
	補助金(千円)		0	0			0		0	0		0
根羽村	面積(ha)・材積(m3)	30			12					-19	0	
	補助金(千円)	8,708	0	8,708	3,281		3,281		3,281	-5,428	0	-5,428
下條村	面積(ha)・材積(m3)				13	81				13		
	補助金(千円)			0	3,415	284	3,698		3,698	3,415		3,698
売木村	面積(ha)・材積(m3)	1			12					10		
	補助金(千円)	315		315	2,589		2,589		2,589	2,274		2,274
天龍村	面積(ha)・材積(m3)	16			15					0		
	補助金(千円)	4,493		4,493	4,260		4,260		4,260	-233		-233
泰阜村	面積(ha)・材積(m3)	15			8					-7		
	補助金(千円)	3,945	0	3,945	2,207		2,207		2,207	-1,738		-1,738
喬木村	面積(ha)・材積(m3)	5			4					-1	0	
	補助金(千円)	1,275		1,275	1,220		1,220		1,220	-56	0	-56
豊丘村	面積(ha)・材積(m3)									0		
	補助金(千円)			0						0		0
大鹿村	面積(ha)・材積(m3)	60			13					-47		
	補助金(千円)	15,863		15,863	3,126		3,126		3,126	-12,737		-12,737
計	面積(ha)・材積(m3)	425	350		378	1,648				-48	1,298	
	補助金(千円)	122,890	1,225	124,115	102,106	5,768	107,874		107,874	-20,784	4,543	-16,241

平成30年度みんなで支える里山整備事業の計画(要望量)及び実績見込み(防災・減災分)

区分	H30(計画)			H30(実績見込み)			増減		
	間伐	搬出材積	計	間伐	搬出材積	計	間伐	搬出材積	計
飯田市	面積(ha)・材積(m3)	65		14			-51	0	
	補助金(千円)	18,498	18,498	3,497	3,497	3,497	-15,001	0	-15,001
松川町	面積(ha)・材積(m3)					0	0		0
	補助金(千円)		0			0	0		0
高森町	面積(ha)・材積(m3)					0	0	0	0
	補助金(千円)		0			0	0	0	0
阿南町	面積(ha)・材積(m3)	24		14			-10	0	
	補助金(千円)	6,311	6,311	3,096	3,096	3,096	-3,215	0	-3,215
阿智村	面積(ha)・材積(m3)					0	0	0	0
	補助金(千円)		0			0	0	0	0
平谷村	面積(ha)・材積(m3)	11					-11		
	補助金(千円)	2,893	2,893		0	0	-2,893		-2,893
根羽村	面積(ha)・材積(m3)	13					-13	0	
	補助金(千円)	3,496	3,496		0	0	-3,496	0	-3,496
下條村	面積(ha)・材積(m3)	6					-6		
	補助金(千円)	1,577	1,577		0	0	-1,577		-1,577
売木村	面積(ha)・材積(m3)	6					-6		
	補助金(千円)	1,578	1,578		0	0	-1,578		-1,578
天龍村	面積(ha)・材積(m3)			11			11		
	補助金(千円)		0	3,284	3,284	3,284	3,284		3,284
秦阜村	面積(ha)・材積(m3)	10					-10		
	補助金(千円)	2,629	2,629		0	0	-2,629		-2,629
喬木村	面積(ha)・材積(m3)						0	0	0
	補助金(千円)		0			0	0	0	0
豊丘村	面積(ha)・材積(m3)						0		0
	補助金(千円)		0			0	0		0
大鹿村	面積(ha)・材積(m3)						0		0
	補助金(千円)		0			0	0		0
計	面積(ha)・材積(m3)	135	0	39	0		-97	0	
	補助金(千円)	36,980	36,980	9,877	9,877	9,877	-27,104	0	-27,104

平成 30 年度 みんなで支える里山整備事業 事業地の事例



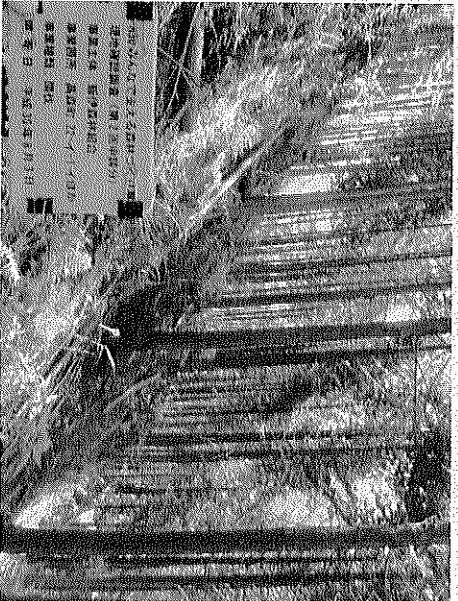
No. 1 ヒノキ林の間伐 (阿智村智里)

※本日の現地調査箇所の一部



No.1-2 スギ林の間伐 (阿智村智里)

※一部搬出支援を活用し伐採木を搬出

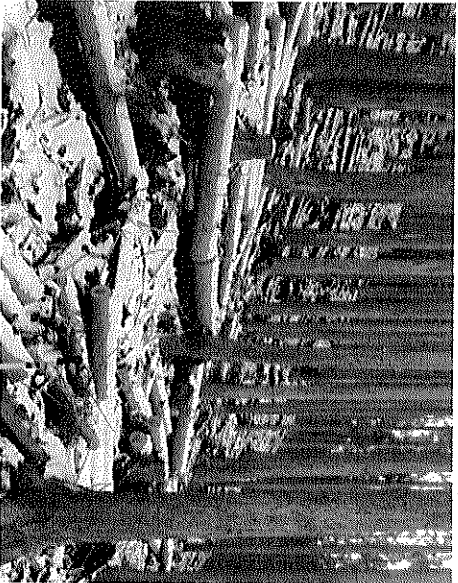


No. 2 ヒノキ林の間伐 (高森町 大島山)



No. 3 ヒノキ林の間伐 (阿智村 清内路)

※直接支援事業 (国補助) で獣害対策を一体的に整備



No. 4 スギ林の間伐 (天龍村 神原)

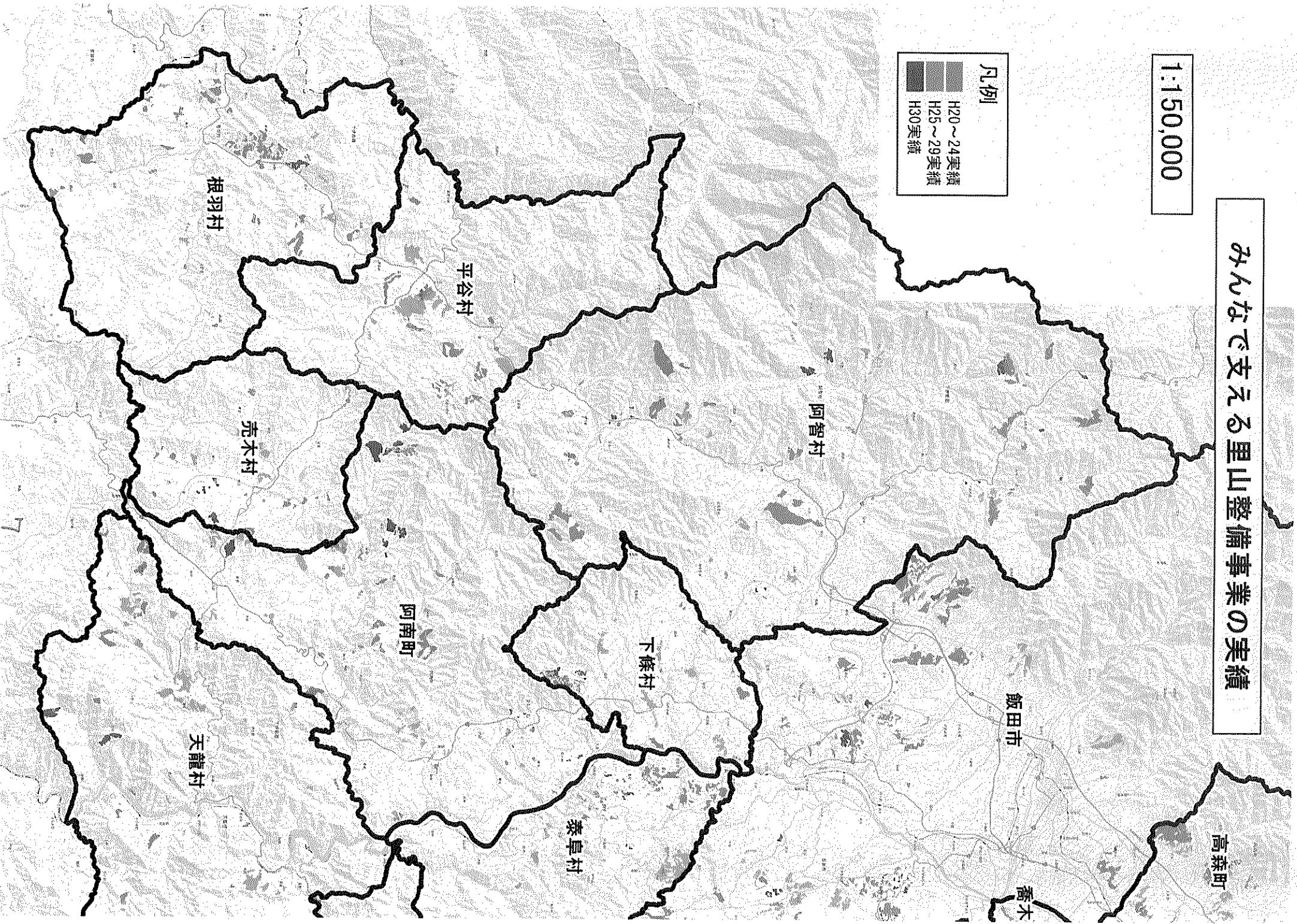
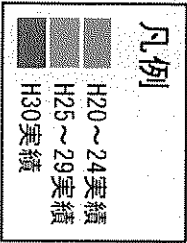


No. 5 スギ林の間伐 (飯田市南信濃和田)

※搬出支援を活用し、伐採木を搬出

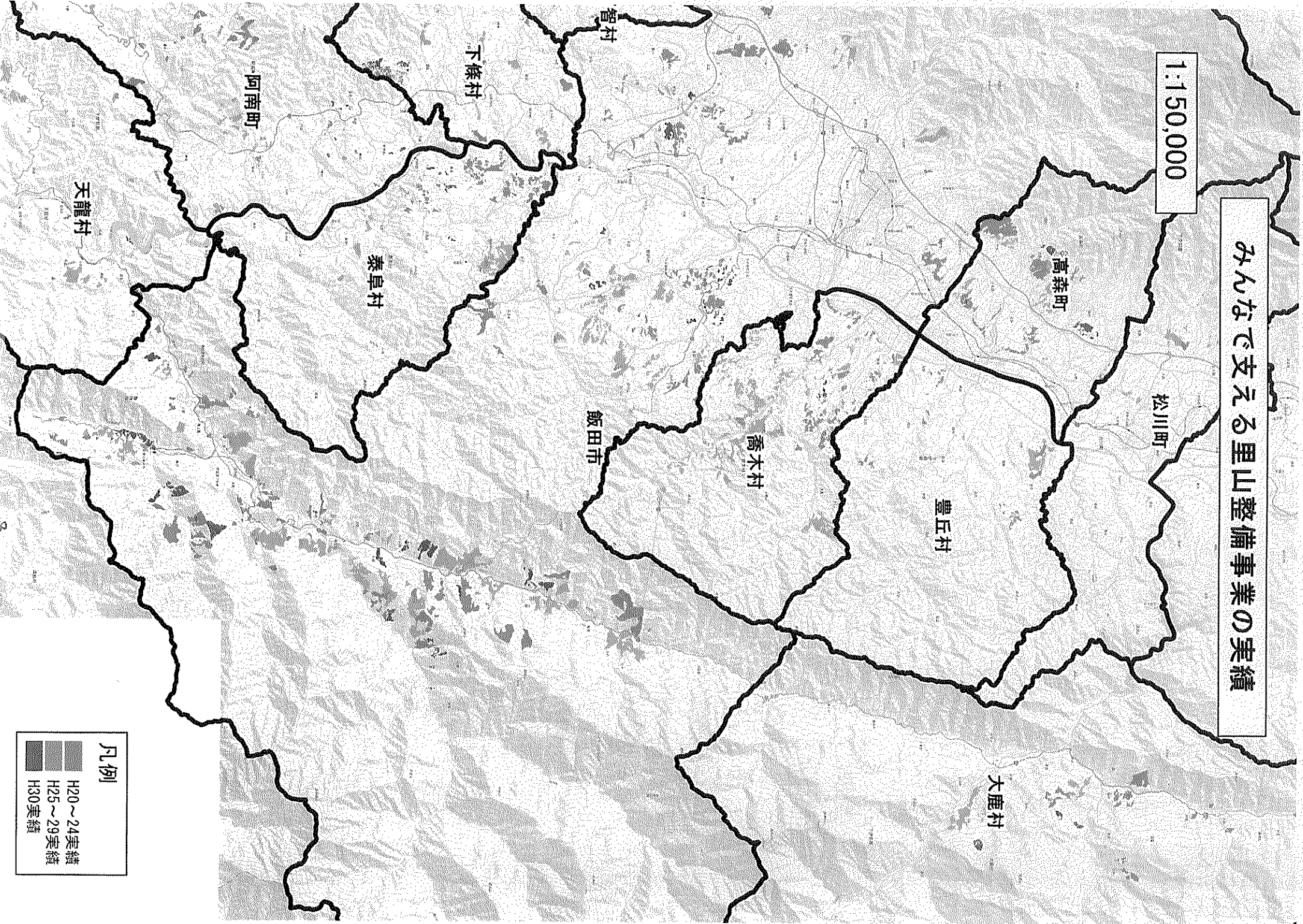
みんなで支える里山整備事業の実績

1:150,000



みんなが支える里山整備事業の実績

1:150,000



松川町

高森町

豊丘村

大鹿村

喬木村

飯田市

下條村

泰皇村

阿南町

天龍村

凡例
H20~24実績
H25~29実績
H30実績

里山整備方針作成事業 平成30年度実施状況

1 目指す成果・成果目標・指標 指標 【基本方針活用事業より】

- ・ 里山整備方針(図面)の作成 120箇所

【取組により期待される効果】

- ・ 森林整備の実施を通じた防災意識の向上(里山整備実施者の増加)

2 事業の概要 (全県)

【里山整備方針作成事業】

- ・ 森林づくり県民税を活用した「防災・減災」及び「住民等の利活用」のための里山の整備を進めるため、航空レーザー測量等の科学的知見や現地調査の結果等を踏まえ、優先的に整備していく箇所を特定、図面化することにより、森林づくり県民税の効果的な活用と取組の見える化を図る。

予算額：千円

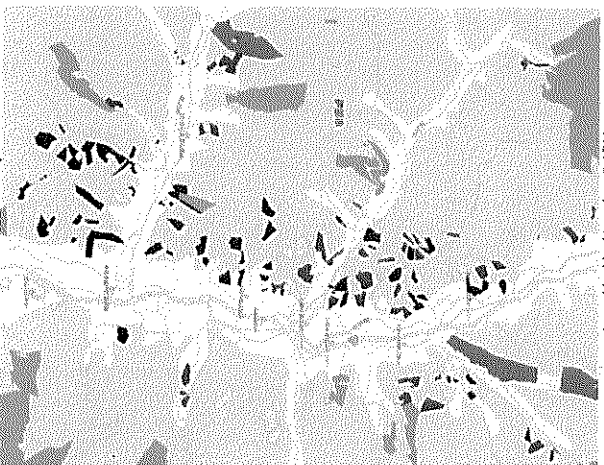
事業内容	事業主体	H30年度 事業計画	補助率	予算額
・ 優先整備箇所の調査 ・ 里山整備方針(図面)の作成	市町村、森林整備協議会等	里山整備方針の作成	10/10	25,200
		120箇所 (旧市町村数)		

3 南信州地域振興局管内の実施状況

※平成31年3月11日現在

市町村	事業内容	事業費 (円)	補助金額 (円)	備考
飯田市	航空レーザー測量等による優先整備箇所に地域防災計画の土砂災害警戒区域等を追加して里山整備方針を作成するための、データ整備及び図面化	486,000	486,000	
喬木村	里山整備方針を作成するため、過去の災害履歴等の情報収集及び現地調査等を実施	1,150,000	1,150,000	

里山整備方針(図面)イメージ



	緊急的な要整備森林
	優先的な要整備森林(特に緊急な整備が必要)
	優先的な要整備森林(それ以外)
	森林整備実施地(森林税)
	森林整備実施地(森林税以外)

県単河畔林整備事業

建設部 河川課

○目的

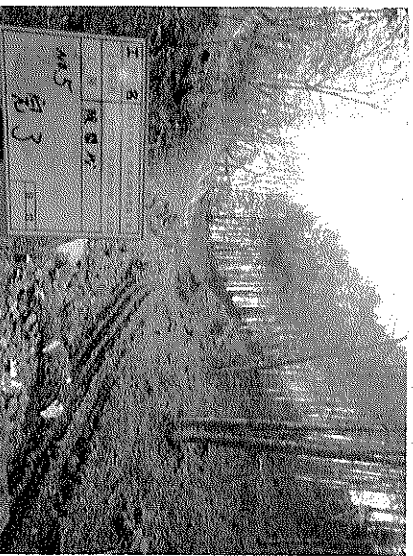
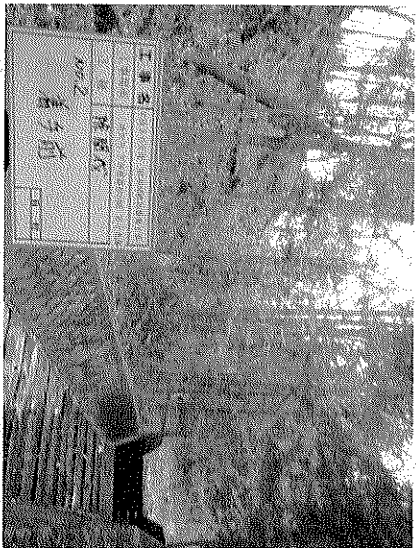
県が管理する一級河川の区域外（民地）の河畔林及び市町村が管理する準用河川区域とその周辺の河畔林のうち、防災効果が高い箇所の整備を推進する。

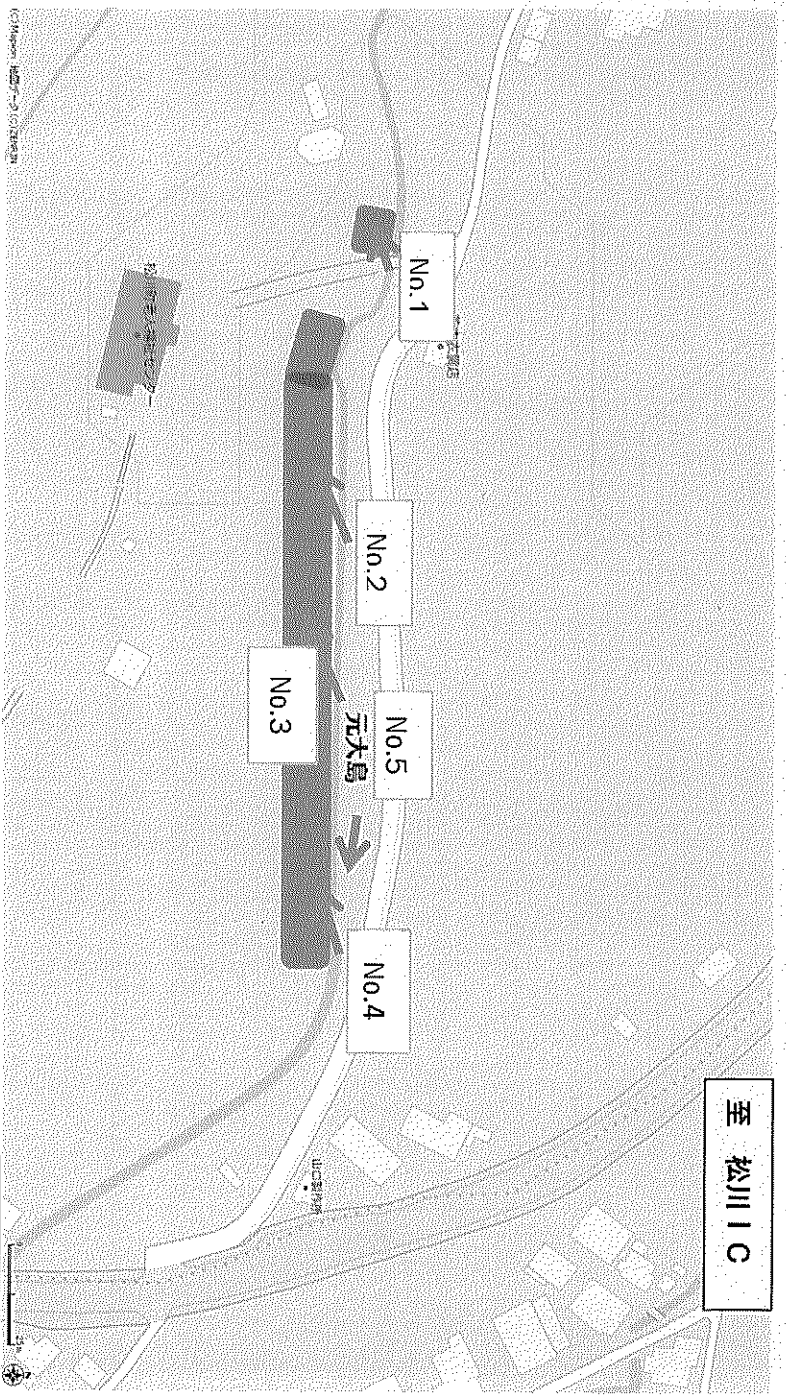
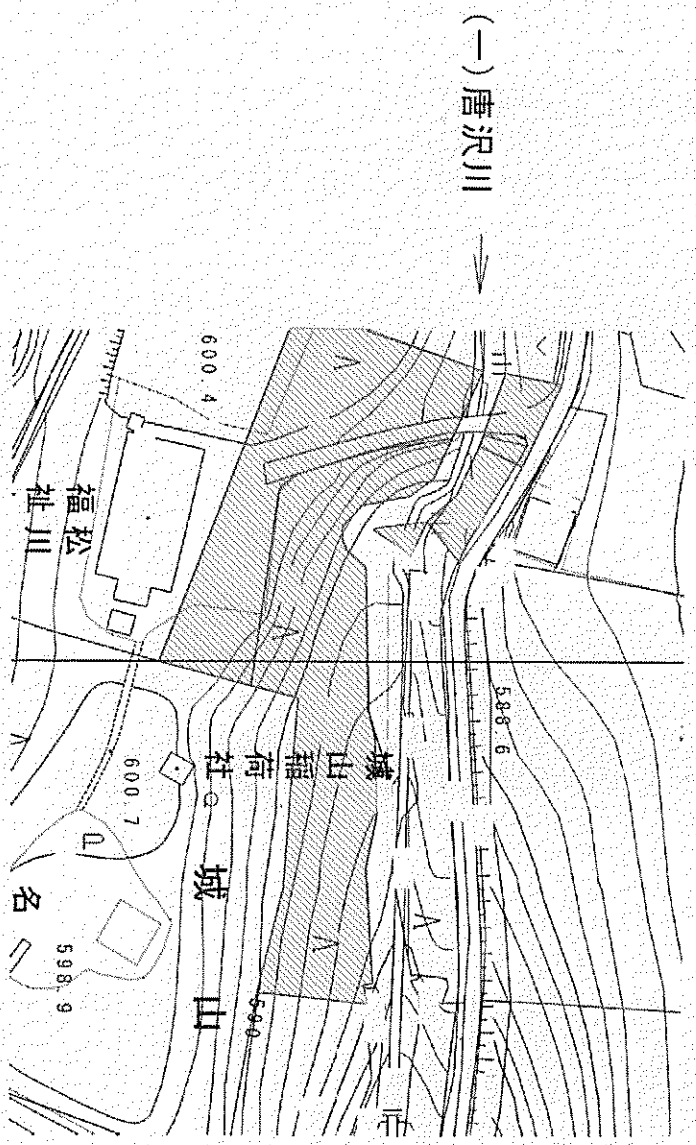
○補助率 市町村：9/10

○事業地

市町村	事業主体	箇所名	事業内容	事業費 (円)	補助金 (円)	備考
松川町	長野県	松川町 唐沢川	河畔林整備	2,991,600	—	完了
飯田市	飯田市	北の沢川	河畔林整備	5,400,000	4,860,000	施工中
阿南町	阿南町	沢尻川	河畔林整備	5,000,000	4,500,000	施工中
根羽村	根羽村	小橋川	河畔林整備	4,200,000	3,780,000	施工中
売木村	売木村	立又川	河畔林整備	1,000,000	900,000	施工中
天龍村	天龍村	大河内川	河畔林整備	5,000,000	4,500,000	施工中
大鹿村	大鹿村	桐久保沢	河畔林整備	5,000,000	4,500,000	施工中
計	7箇所			28,591,600	23,040,000	

○県単河畔林整備工事：松川町（元大島） 名子北部 唐沢川





県民協働による里山の整備・利用事業 平成30年度実施状況

1 必要性・独自性

【基本方針活用事業より】

- 過疎化・高齢化が進む山村地域で里山を保全するには、地域住民等による里山の多面的な利活用を進め、管理の空洞化の抑制につながるような権利関係の調整を行いつつ、間伐等の整備を推進することが有効であり、こうした活動を県内全域で展開していくことが重要。
- このような観点から、「長野県ふるさとの森林づくり条例」では、地域住民が自発的に里山保全を図ろうとする地域を市町村の申し出により知事が「里山整備利用地域」に認定し、里山の整備及びその利活用に関する活動を促進しているが、里山整備利用地域の認定は、現在5地域455haにとどまっている状況。
- このため、こうした制度を効果的に活用しつつ、住民協働による里山の整備を促進するとともに、木材利用や教育・観光等の多面的な森林資源の利活用を進めることで、森林と地域の関係性を再生し、自立的・持続的な長野県独自の森林管理を構築していくことが必要。
- 自立的な里山の多面的利活用を行う事業主体を育成していくためには、資機材の導入支援や遊歩道の整備も必要。

2 目指す成果・成果目標・指標

【基本方針活用事業より】

- 里山整備利用地域の認定※ 約150地域/5年間
 - 地域住民等の主体的な参画による里山の整備・利活用 概ね1,500ha程度/5年間
- 【取組により期待される効果】
- 里山を活用した副業の展開等による山村経済の活性化、人材育成
 - 地域住民の里山利活用の増加

3 事業の概要 (全県)

【里山整備利用地域活動推進事業】

- 地域住民による里山の整備・利活用を促進するため、長野県ふるさとの森林づくり条例に基づく「里山整備利用地域」の認定地域において、地域住民による里山整備利用推進協議会の立ち上げ及び里山整備利用地域活動計画の作成等を支援する。

事業内容	事業主体	H30年度事業計画	補助率	予算額	
・現地調査 ・地域活動(森林体験活動、新の生産、山菜・きのこ栽培、野生鳥獣対策、植生保存活動等) ・計画作成 等	里山整備利用推進協議会	里山整備利用地域の認定	50地域	10/10	9,800

予算額:千円

※里山整備利用地域の認定前であっても支援対象

【里山資源利活用推進事業】

- 里山の資源を有効に活用し地域に還元する仕組みづくりを進めるため、自立的・持続的な管理体制の構築に必要な資材の導入等を支援する。

事業内容	事業主体	H30年度事業計画	補助率	予算額	
資機材等の導入(チェーンソー、薪割り機、簡易ウイッチ、移動式トイレ等) 遊歩道の整備	里山整備利用推進協議会	里山整備利用地域の認定	50地域	3/4	33,750

予算額:千円

4 南信州地域振興局管内の実施状況

(別表のとおり)

平成30年度 県民協働による里山の整備・利用事業実施一覧表

※平成31年3月11日現在

市町村	事業主体	事業内容	事業費 (円)	補助金額 (円)	備考
高森町	牛牧 里山整備 協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・山林と農地境界の環境整備 ・草原木の伐採・植菌・栽培・収穫 ・ホダ場周辺の里山林の整備 ・アカマツ枝物の栽培 ・薪づくり 	542,815	542,000	
喬木村	氏乗 里山整備 協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・里山整備利用計画の作成 ・里山の整備活動 ・安全技术講習 ・竹林整備の学習 ・巨樹(桜)の保存活動 ・マツタケ山の増産活動 	208,960	208,000	
喬木村	大島地区 里山整備 利用推進 協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・里山整備利用計画の作成 ・里山の整備活動 ・巨樹(桜)の保存活動 ・マツタケ山の増産活動 	200,480	200,000	

地域で進める里山集約化事業 平成30年度実施状況

1 必要性・独自性

- ・里山の小規模個人有林等の整備を効率的かつ効果的に進めるためには、境界の明確化や森林所有者の同意取得を行い、施業を集約化するための条件整備が必要。
- ・一方で、所有者の不在村化や境界の不明瞭などにより、施業の集約化が困難な場合も存在することから、地域の実情に応じ、小規模個人有林等の整備を推進。

2 目指す成果・成果目標 【基本方針活用事業より】

- ・防災・減災のために必要不可欠な里山の間伐 概ね 5,700ha 程度/5 年間
 - ・地域住民等の主体的な参画による里山の整備・利活用 概ね1,500ha程度/5年間
- 【取組により期待される効果】

- ・森林整備の実施を通じた防災意識の向上(里山整備実施者の増加)
- ・里山を活用した副業の展開等による山村経済の活性化
- ・地域住民の里山利活用の増加

3 事業の概要(全県)

【地域で進める里山集約化事業】

- ・小規模個人有林、不在村者所有森林等が多い里山の森林整備を推進するため、間伐事業実施地の森林所有者の合意形成や、所有者の境界を明確化する取組を支援する。

予算額:千円

事業内容	事業主体	H30年度事業計画	補助率	予算額	
・森林所有者の同意取得 ・境界の明確化	自治会組織、 林業事業体等	集約化等面積	900ha	定額	14,400

4 南信州地域振興局管内の実施状況

※平成31年3月11日現在

市町村名	地区名	団地名	事業主体	集約化予定面積 (ha)	対象人数 (人)	ha当りの 交付金額 (円)	交付金 予定額 (円)	備考
飯田市	南信濃八日市場	柄沢北	飯伊森林組合	15	6	15,000	225,000	
		上町向井	-	10	3	15,000	150,000	
市町村計	2	2		25	9		375,000	
高森町	山吹	新田	山吹区	10	21	15,000	150,000	
市町村計	1	1		10	21		150,000	
阿智村	-	下清内路	飯伊森林組合	7	3	15,000	105,000	
市町村計	1	1		7	3		105,000	
泰阜村	金野	峠田	金野部落	3.5	11	15,000	52,500	
				11.5	20	15,000	172,500	
市町村計	2	2		15	31		225,000	
合計	6	6		57	64		855,000	

平成 30 年度 「子どもの居場所」 木質空間整備事業

南信州地域振興局 林務課

項目	内 容	
趣旨	子どもの居場所の木質空間づくりのため、施設の木造・木質化及び県産材を利用した調度品やおもちゃの設置に対する支援を行うもの	
目的	住宅等を建てる世代の親子が触れあう「子どもの居場所」の木質化や木製家具等を設置することで、県産材利用の動機付けを図るとともに、一般住宅等への県産材利用の動機付けを図る。	
事業種類	【木造・木質化】	【木の調度品・おもちゃ設置】
事業主体	施設の木造・木質化を行う事業者 (市町村、公共的団体、民間企業 等)	県産材を利用した調度品・おもちゃを施設に設置する事業者 (市町村、公共的団体、民間企業 等)
補助対象施設	子どもの居場所 (幼稚園、保育所、児童館、小児科等の施設及び不特定多数の県民が利用する公共的施設や民間施設(商業施設等)に設けられるキッズスペース 等)	
補助率	1/2以内	3/4以内
補助対象経費	施設の木造・木質化に係る経費	
補助金の上限額	1箇所あたりの限度額 250万円未満	1箇所あたりの上限額 37.5万円
補助条件	<ul style="list-style-type: none"> ・国庫補助の対象外(事業費 500万円未満、300㎡未満)の施設を対象とする。 ・原則、県産材(信州木材認証製品又は同等品)を使用すること 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・補助の対象となる製品は、県産材を利用し、かつ県内で加工・製品化された調度品、おもちゃ等とする。 ・木の調度品等を施設に導入する事業を補助対象とするため、子どもにおもちゃをプレゼントする取り組みは対象としない。 ・調度品・おもちゃの例： 本棚、机、椅子、テレビ台、遊具(木球プール、滑り台)、積み木 等 	

※公募及び審査会等で内容審査を行い、予算の範囲内で、採択箇所を選定

平成30年度「子どもの居場所」木質空間整備事業実施一覧(見込)
 (木の調度品・おもちゃの設置)

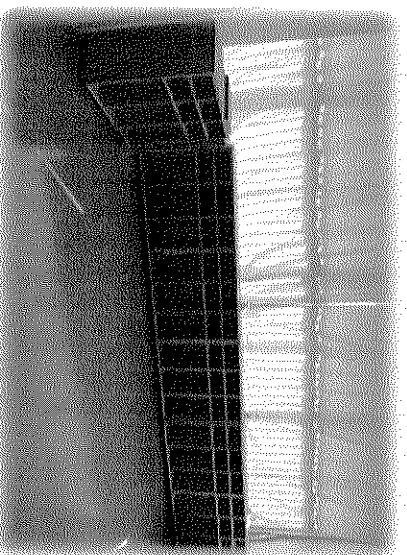
市町村	事業主体	設置場所	内 容	補助対象事業費 (円)	補助金額 (円)
飯田市	社会福祉法人 慈光福祉会	慈光保育園	園児用可動式ロッカー6台	500,000	375,000
飯田市	社会福祉法人 慈光福祉会	慈光松尾保育園	園庭用のテーブル1脚、長椅子2脚 及び本棚2台	369,000	276,750
平谷村	平谷村	平谷キッズセン ター	玩具17点、調度品1点、遊具4点	500,000	375,000
根羽村	根羽村	根羽村保育所	園児用のテーブル12脚及び椅子6脚	500,000	375,000
根羽村	根羽村	根羽小学校	木のおもちゃ11点	500,000	375,000
売木村	売木村	売木村子育て支 援センター	木球ゲーム1セット	300,456	225,000
大鹿村	大鹿村	道の駅 歌舞伎 の里大鹿	積み木1セット、木製車玩具4体	27,000	20,250
計				2,696,456	2,022,000



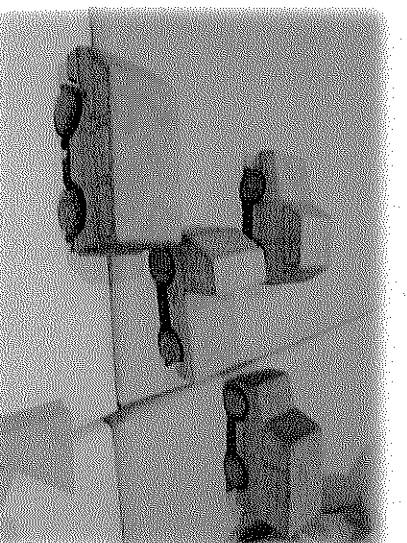
木球ゲーム (売木村)



本棚 (慈光松尾保育園)



可動式ロッカー (慈光保育園)

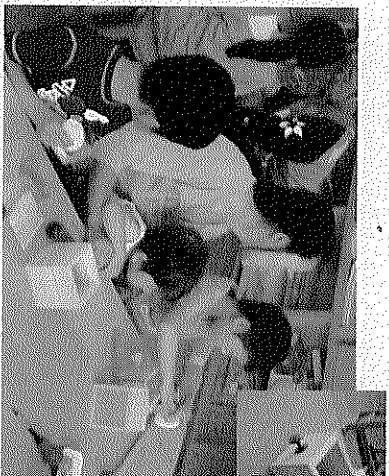


車玩具 (大鹿村)

木工体験活動支援事業

平成 30 年度実施状況

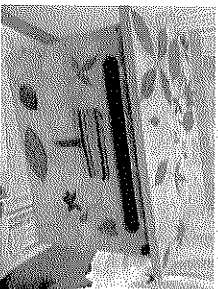
市町村	事業主体	事業内容	事業費 (円)	補助金 (円)
飯田市	緑ヶ丘中学校	地域材のヒノキを使い木製の簡易ス テージと下駄箱を製作した。	307,127	230,000
大鹿村	大鹿小学校	地域材の広葉樹を使い木製の小物入 れの製作を親子で実施した。	32,255	24,000
天龍村	天龍中学校	地域材を使った木製のハンガーを生 徒が地域住民と一緒に製作した。	698,280	500,000
天龍村	天龍みどりの少 年団育成会	地域材を使い、グッズポウソウの巣箱を 子供達が製作した。	48,567	34,000
喬木村	喬木村 (教育委員会)	地域材を使った木製ポストや机と椅 子の製作を子供達が実施した。	126,665	94,000



大鹿小・小物入れ製作



天龍中・ハンガー製作



喬木村・木製ポスト



平成30年度松くい虫被害木利活用事業

南信州地域振興局 林務課

1 趣旨

有効活用されていない松くい虫被害木を木質バイオマス発電の燃料等に資源化して活用する、地域の主体的な取組を促進するため、市町村が行う松くい虫被害対象森林の調査、松くい虫被害木の伐倒及びチップ・薪等に加工する経費に対し支援を行い、松くい虫対策の推進を図る。

- 2 事業主体 市町村 (松くい虫被害市町村)
- 3 補助率 9/10以内
- 4 事業内容

枯損したアカツツの伐倒、チップ化・バイオマス燃料等への資源活用を行うなど、被害拡大防止対策のモデル的取組を支援

- 5 事業規模 20,000千円

6 事業目標及び全体計画	5か年で、松くい虫被害が確認されている全51市町村で実施				
	H30	H31	H32	H33	H34
実施市町村数	10	10	10	10	11
予算額	18,000千円	18,000千円	18,000千円	18,000千円	19,800千円

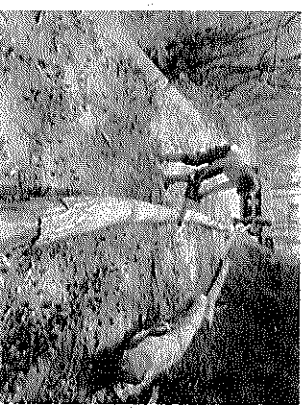
【南信州地域振興局での取組】

事業主体：豊丘村

事業費：1,000千円

事業期間：平成31年1月10日～3月25日

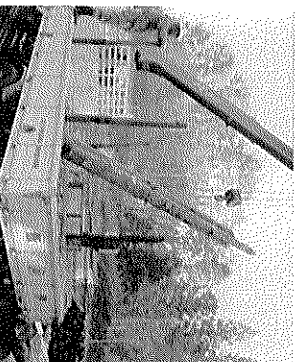
事業概要：林道大島蛇川線沿線等の松くい虫被害木 (30㎥3) を伐採及び集材し、薪等に加工するため社会福祉法人信濃こぶし会 薪工房へ運搬



松くい被害木

伐倒

玉切り



薪へ加工

集材・運搬

土場搬入

里山整備利用地域リーダー育成事業 平成30年度実施状況

- 1 必要性・独自性 【基本方針活用事業より】
 - ・ 自立的・持続的な森林管理を進めるため、森林の整備や多面的利活用を推進するリーダーや、多くの関係者をコーディネートする人材の育成が急務。
 - ・ 森林への期待や利活用の形態が多様化している現状において、NPOや自主的な森林づくりに取り組む方々など森林づくりに関わる人々の力の結集が必要。
 - ・ 地域住民等の協働作業における安全性を確保するための技術講習等を行うことが必要。
- 2 目指す成果・成果目標 【基本方針活用事業より】
 - ・ 地域リーダーの育成 概ね150人程度(里山整備利用地域150地域程度に各1名)/5年間
 - ・ 森林の整備利用に携わる人材の育成 概ね4,500人程度/5年間(里山整備利用地域150地域程度×30人)

【取組により期待される効果】

 - ・ 新たな里山活用モデルによるの地域活性化
 - ・ 参加者の豊かなライフサイクル・交流の場づくりによる総合的な地域力向上

3 事業の概要 (全県)

- ・ 持続的に地域の森林を適正に管理していく体制構築のため、里山を管理・利用する地域活動のコーディネートや技術指導等を行う人材、地域の里山を維持管理する人材を育成します。

事業内容	事業主体	H30年度 事業計画		補助率	予算額
		地域リーダー人材	維持管理人材		
・リーダー対象者への研修会 ・地域で行われる安全講習会への講師の派遣	県	30人	900人	-	2,751

予算額:千円

4 南信州地域振興局管内の実施状況

開催日	開催場所	開催内容	参加者数	備考
2月17日 (日)	喬木村 富田地域	○第1部 「竹林整備の技術を知ろう！」(実技講習) 竹伐り用チェーンソー・ノコギリでの伐倒体験、運び出し作業、竹チップパー実演を行った。 ○第2部 「竹林を楽しく活用しよう！」 ・「天竜川驚流峡復活プロジェクト」の住民協働の竹林整備や、若竹を原料とした国産メンブ「天竜いなちく」などの取組紹介 ・ 中川村 竹の会「夢里人」の竹林整備の取組や、竹粉を原料としたボカシ肥料による「竹米」栽培などの取組紹介	約70名	
3月2日 (土)	松川町 部奈地域	○第1部 「里山と福祉・ボランティアとの連携」 「こぶし園」より障がい者による里山の特用林産物の生産、販売、収穫の取組を紹介 ・ 「部奈地区里山整備利用推進協議会」より、信州大学のサークルとともに12年間取り組んできた山づくりについて紹介 ○第2部 「里山を使った『やまほいく』の実践」 「山の遊び舎はらべこ」より、自然の中での体験の積み重ねが子供たちの主体性や心の豊かさといった育ちにつながることを紹介。また部奈のやまほいくフェードでは参加者の気づき体験を実践紹介	約70名	

自然保育活動フイールド等整備事業

県民文化部 次世代サポート課

○目的

長野県が認定した信州やまほいく（信州型自然保育）認定園が、自然保育の安全性の確保や保育環境の向上を図るため、自然保育活動に使用するフイールド等を整備する。

○補助率 森林整備：9/10 付帯施設：1/2

○事業地：保育園とは離れており、移動はバス使用

市町村	事業主体	箇所名	事業内容	事業費 (円)	補助金 (円)
飯田市	(社福) 明星会	明星保育園	フイールド 整備(森林 整備)	1,360,800	1,000,000
			付帯施設整 備(歩道整 備)	583,200	291,600
計				1,944,000	1,291,600

○フイールド整備 (森林整備)



着手前



完了

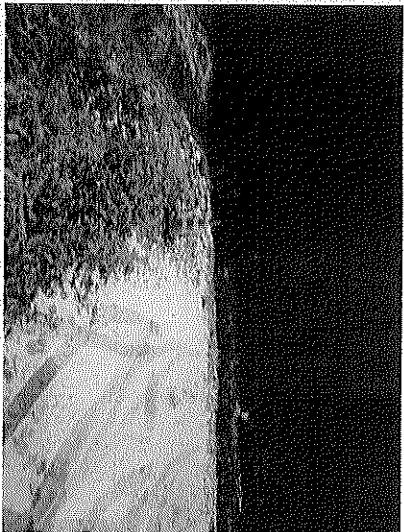


着手前



完了

○付帯施設（歩道整備）



着工前



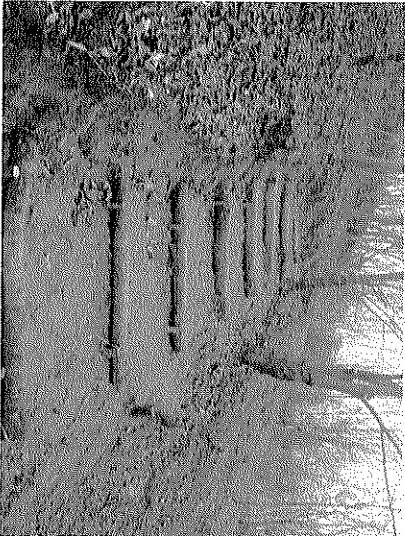
完了



完了



完了



観光地等魅力向上森林景觀整備事業 平成30年度実施状況

- 1 必要性・独自性 【基本方針活用事業より】
 - ・本県は、観光を軸とした地域経営の体制を整備することにより、県内観光業の「稼ぐ力」を高めて雇用や移住に結びつけ、世界と競争できる「観光大県づくり」を推進。
 - ・本県が目指す世界水準の山岳高原リゾート構築のためには、本県の強みである豊かな森林資源を活かした観光地の魅力向上が不可欠。
 - ・地域の景觀に合致した間伐の実施、街路樹の整備等や、地域の特性・ニーズに合わせた、間伐、除伐、竹林整備等が必要。

- 2 目指す成果・成果目標 【基本方針活用事業より】
 - ・地域の景觀に合致した間伐等 概ね 85ha程度/5年間

【取組により期待される効果】

 - ・観光地の魅力向上による観光利用者の満足度の向上

- 3 事業の概要（全県）

【観光地等魅力向上森林景觀整備事業】

 - ・豊かな森林資源を活かした観光地の魅力向上を図るため、地域の景觀に合致した森林整備等を推進し、観光地等の魅力向上を図る。

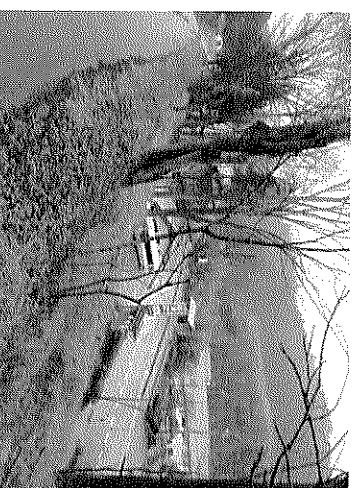
予算額：千円

事業内容	事業主体	H30年度 事業計画	補助率	予算額
・景觀整備 ・ビューポイントの樹木の伐採 ・巨樹・古木などの保存	市町村	地域の景觀に合致した間伐等	17ha	9/10
				7,605

4 南信州地域振興局管内の実施状況

※平成31年3月11日現在

市町村	事業主体	事業内容	事業費 (円)	補助金額 (円)	備考
阿智村	阿智村	昼神温泉郷において、ハナモモなどに彩られる四季折々の阿智川及び温泉郷全体を一望できるビューポイントを整備 眺望を確保するための立木の伐採（道路沿いの樹木の伐採） 0.43ha	1,891,080	1,675,000	



整備後の状況

森林セラピー基地等施設整備支援事業 平成30年度実施状況

1 必要性・独自性

【基本方針活用事業より】

- ・ 森林を活用し農林業・観光・医療の各分野が連携した取組である「森林セラピー」は、新たな地域活性化策として期待。
- ・ 本県の強みである基地数最多の「森林セラピー県」として、県内及び全国からの森林セラピー体験者に対し、安全に利用できるセラピー基地内のフイールド整備・施設整備が必要。

2 目指す成果・成果目標

【基本方針活用事業より】

- ・ 森林セラピー基地の整備 全10箇所/5年間

【取組により期待される効果】

- ・ セラピー基地利用者の増加
- ・ セラピー参加者の健康維持・増進、森林への興味促進

3 事業の概要 (全県)

- ・ 本県の森林セラピーの利用を促進するとともに、関連する産業（観光、健康、環境、産業）との連携を強化し、地域資源として積極的に活用していくため、セラピー基地等の魅力向上を図るとともに、県内外へ積極的にPRを行い、利用者の増加、満足度の向上を図る。

予算額:千円

事業内容	事業主体	H30年度 事業計画	補助率	予算額
・ 修景伐採 ・ 施設補修	市町村	森林セラピー基地整備	4箇所 9/10 1/2	15,765

4 南信州地域振興局管内の実施状況

※平成30年3月11日現在

市町村	事業主体	事業内容	事業費 (円)	補助金額 (円)	備考
松川町	松川町	森林セラピー基地 リフレッシュ タウンまつかわの里～およりの 森～における、 ・ 除伐・間伐等の森林整備 約5ha ・ 案内看板の修繕 1基	6,369,840	5,173,840	

森林づくり推進支援金 平成30年度実施状況

1 必要性・独自性

【基本方針活用事業より】

- ・従来の施策では対象にならない喫緊の課題に対応できる交付金は、市町村の評価が高い。
- ・広い県土を有する本県においては、各地域の様々な課題に応じた森林整備等の取組が不可欠であることから、市町村がきめ細やかな対応を行うための一定の財源が必要。
- ・森林を多く抱える山間部の町村は、総じて人口が少なく財政規模も小さいことから、森林面積等に応じた配分を行う財政調整的な性格を有する支援は不可欠。

2 目指す成果・成果目標

【基本方針活用事業より】

- ・全ての市町村で地域固有の課題の解決の取組が行われること
(毎年度、目標・指標の設定、成果の把握・検証は市町村が実施)

【取組により期待される効果】

- ・身近な課題解決への取組による森林への関心の向上
- ・身近な里山などの森林整備や木材利用が図られる

3 事業の概要 (全県)

- ・森林づくり指針に掲げる方針を踏まえつつ、森林に関する各地域の様々な課題解決のための国庫補助等の既存施策の対象とならない市町村の取組を支援し、事業実施後は市町村において成果の把握・検証を行う。

予算額:千円

事業内容	事業主体	H30年度 事業計画		補助率	予算額
市町村が行う身近な課題解決のための森林づくりの取組	市町村	実施市町村数	77市町村	定額	90,000

4 南信州地域振興局管内の実施状況

(別表のとおり)

5 その他

- ・ 次回の地域会議では、各市町村で作成した事業の検証及び評価等を行った資料を報告します。

平成30年度 森林づくり推進支援金事業実施一覧表

平成31年3月11日現在

市町村名	No	事業項目	事業名	事業内容	事業費 (千円)	支援金額 (千円)	備考
飯田市	1	3	林業技術支援事業	林業の人材育成を目的とした「いいだ森林学校」を開催する。	787	786	
	2	1	地域課題となっている集落の森林づくり事業	集落周辺の危険木等の整備や野生鳥獣被害防止のための緩衝帯整備を行う。	1,053	1,053	
	3	2	地元産材普及啓発事業	市内の新生児や新婚夫婦へ、地域材のスプーンや木製記念品を贈呈する。	1,755	1,755	
	4	1	地域で実施する竹林整備への支援事業	竹林整備で使用する破砕機を貸し出すため、破砕機の点検整備を行う。	8	7	
	計		4事業		3,603	3,601	
松川町	1	1	松くい虫被害木伐倒処理	道路沿いや公園周辺にある松くい虫による枯損木の伐倒を行うことにより、通行車両や公園利用者等の安全を確保する。	2,139	707	
	計		1事業		2,139	707	
高森町	1	1	竹林整備事業	荒廃した竹林の整備を実施する(地元住民による整備後の維持管理を促しつつ実施)。	961	647	
	計		1事業		961	647	
阿南町	1	1	景観整備事業	道路沿い・公共施設周辺等の森林、竹林等を整備することで、冬季間の凍結防止、見通しの確保を行う。	961	907	
	計		1事業		961	907	
阿智村	1	1	生活圏森林等整備事業	緊急度の高い生活圏に密着した道路周辺や公共施設周辺箇所を選定し、伐採整備等を行う。	4,320	1,400	
	計		1事業		4,320	1,400	
平谷村	1	1	未来につなぐ平谷の森林づくり事業	カラマツに代わる新たな植栽樹種の検討を行うため、早生樹等をモデル的に植栽する。	2,565	717	
	計		1事業		2,565	717	
根羽村	1	2	赤坂遊歩道整備事業	上下流交流の場となる赤坂地区の森林に県産材で遊歩道を設置する。	1,375	917	
	計		1事業		1,375	917	

25

平成30年度 森林づくり推進支援金事業実施一覧表

平成31年3月11日現在

市町村名	No	事業項目	事業名	事業内容	事業費 (千円)	支援金額 (千円)	備考
下條村	1	1	森林景観整備事業	道路沿いの森林で景観整備、凍結防止、視界の確保、獣害防除の緩衝帯整備を目的とした整備を行う。	632	470	
	計		1事業		632	470	
売木村	1	1	森林景観整備事業	道路沿いの森林で景観整備、凍結防止、視界の確保、獣害防除の緩衝帯整備を目的とした整備を行う。	695	617	
	計		1事業		695	617	
天龍村	1	1	森林景観整備事業	道路沿線の森林の景観向上と道路の安全通行確保を目的に整備を行う。	999	638	
	2	3	皮剥被害防止事業	ツキノワグマによる皮剥き被害が増加しているため、被害防止効果のある防除テープ等を購入し希望者に配布する。	236	236	
	計		2事業		1,235	874	
泰阜村	1	1	景観整備事業	生活道路沿線の森林で景観整備、凍結防止、視界の確保、獣害防除の緩衝帯整備を目的とした整備を行う。	967	570	
	計		1事業		967	570	
喬木村	1	2	間伐材利用促進事業	九十九谷森林公園の老朽化した木製遊歩道を架け替える。	2,973	720	
	計		1事業		2,973	720	
豊丘村	1	1	景観整備事業	村道沿線の景観整備を実施し、地区のイメージアップと有害鳥獣対策や不法投棄現場の解消を図る。	1,188	725	
	計		1事業		1,188	725	
大鹿村	1	1	広葉樹林再生モデル事業	高標高地において環境に適した樹種を更新・育成していくため、混み合った森林の強度の抜き切りをモデル的に実施する。	594	588	
	2	2	案内看板設置事業	鳥ヶ池キャンプ場に県産材を活用した案内看板を設置する。	766	510	
	計		2事業		1,360	1,098	
合計			19事業		24,974	13,970	

注)「事業項目」番号

(再掲)

1:みんなの暮らしを守る森林づくり	17,082	9,046	
2:木を活かした力強い産業づくり	6,869	3,902	
3:森林を支える豊かな地域づくり	1,023	1,022	

みんなで支える森林づくり推進事業

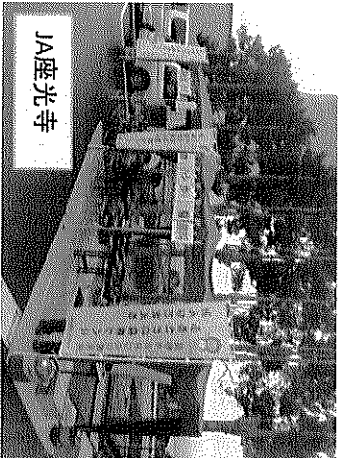
局名

平成30年度
南信州地域振興局

行 事 名	農協祭等における広報		
開催年月日	平成31年10月14日	平成31年11月23日	平成31年2月22日
開催場所	JA座光寺虹のホール	JA上郷虹のホール	南信州元気な森フェスタ 飯田台庁
主催者・共催者	主催：南信州地域振興局 (共催：下伊那山林協会；元気な森フェスタ)		
参 集 者	農協祭・イベントに集う一般県民		
イベント趣旨	広く県民に森林税のPRを目的に、啓発チラシの配布、森林税のアンケートを実施し、県民の森林税への理解度や認識度を調査する。		
イベント概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ブース ・啓発用パンフレット及び広報チラシの配布 ・地域材活用の「マイ箸づくり」で集客 ・アンケート実施 		
反省点	<p>○来場者がブースに入り易いよう箸づくり体験として配慮し、啓発チラシ配布とアンケートの協力をお願いした。今年のJA祭りでは出展場所が悪く、昨年よりアンケート数が少なかった。</p> <p>○元気な森フェスタ外は、森林税PRチラシ・ポケットインシユの配布</p>		

配当予算額 (円)	278,000
実施額(見込み) (円)	190,245
参加人数 (人)	170

(地域会議2回・ポケットインシユ・体験用箸材など)
※内アンケート回答者64名



JA座光寺



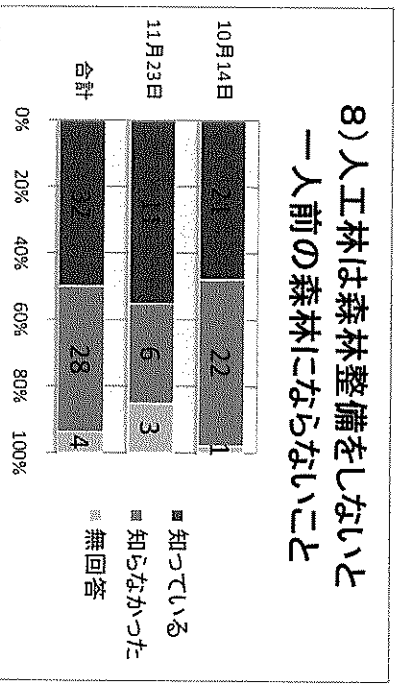
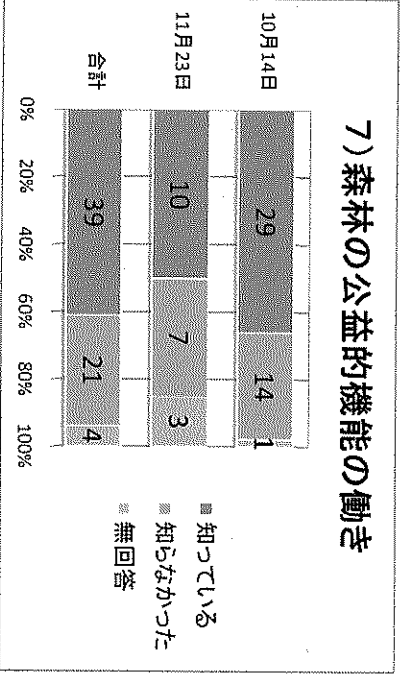
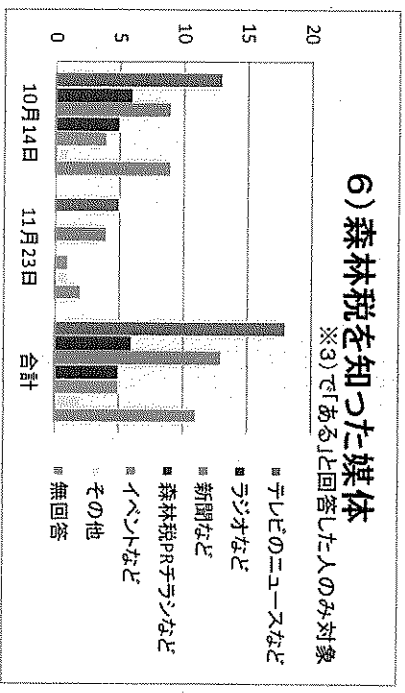
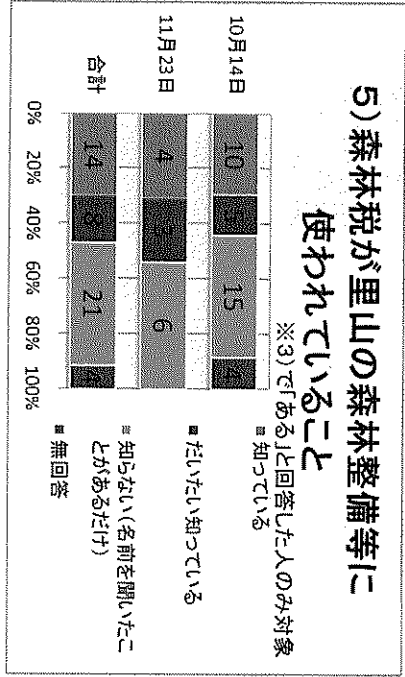
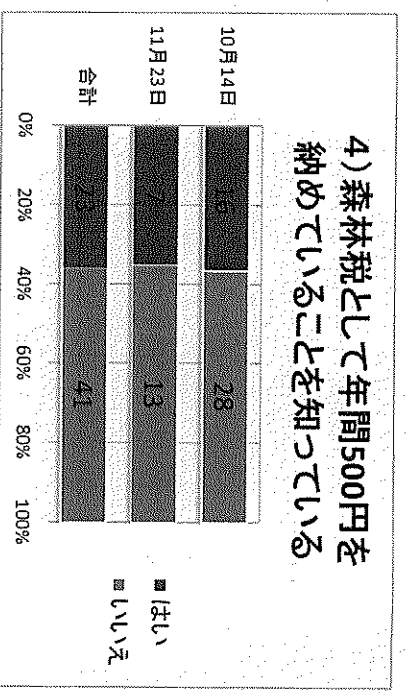
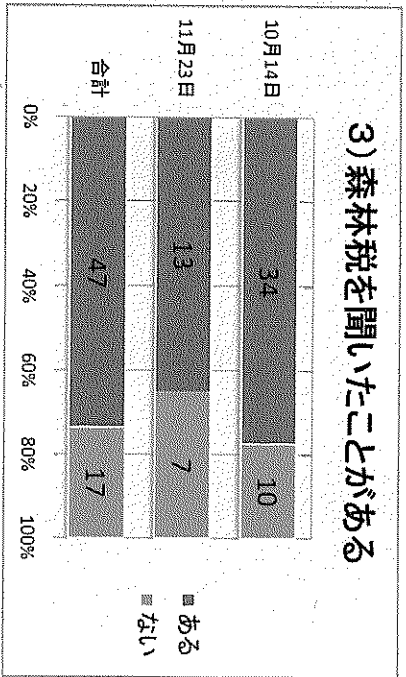
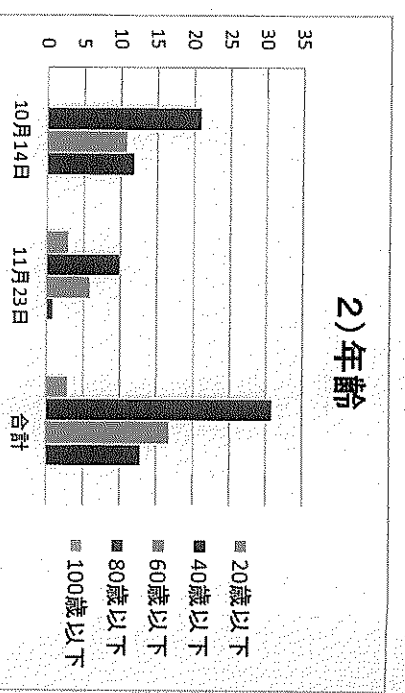
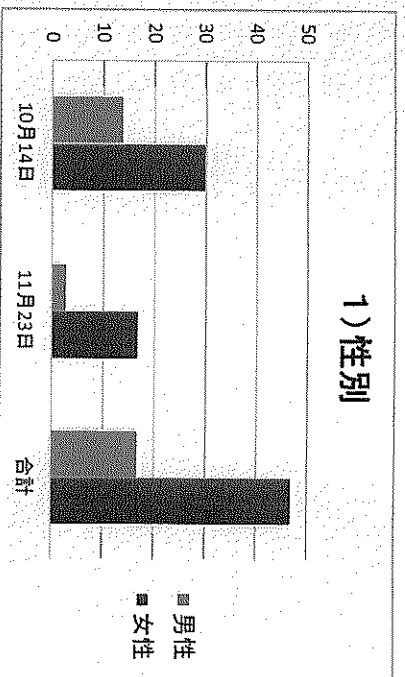
JA座光寺



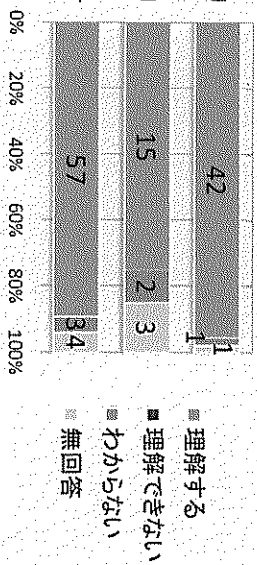
JA上郷



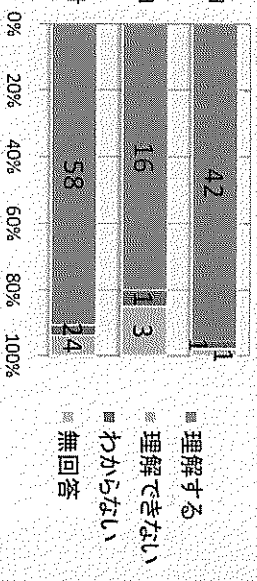
JA上郷



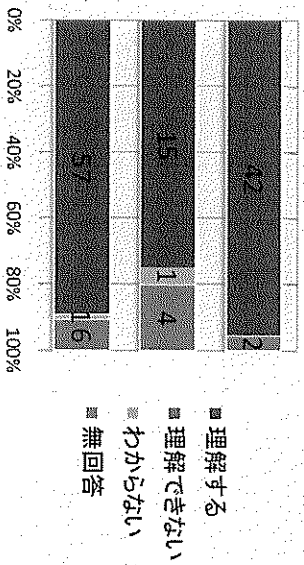
9) 山作業は危険を伴う作業であり
手間やお金もかかること



10) 森林所有者の“山離れ”や
“山の迷子”が増えていること



11) 森林税に理解をいただけるか



森林税は聞いたことはあるが、500円を納めていることを知らないなど、まだまだ、森林税についてのPRが必要となっていることが判明。